



ビジョン連携推進会議第3分科会 事例紹介

平成27年10月23日（金）
八王子市

八王子市事例紹介

【事例 1】 はちおうじ未来塾（地域産業の担い手育成）
市×商工会議所×中間支援組織

【事例 2】 はちおうじ志民塾（市民活動の担い手育成）
市×中間支援組織



【事例 1】 はちおうじ未来塾

「はちおうじ未来塾」は、市内企業の“後継者”を育成するために開校した、人材育成塾です。

目的は、単に経営に必要な知識を習得するといったものではなく、塾生相互の交流・研鑽を通じて、“気づき”を得ることにより、自己変革を促すことにあります。



1.背景

- ① 高度な技術力をもつ製造業の集積
⇒ かつて2000社あった製造業も1500社に。（平成24年経済センサス）
- ② 創業社長が多い土地柄
⇒ 八王子の中小製造業は、周辺の大企業からのスピンアウトベンチャーが多い。
- ③ 徹底した“現場主義”による産業振興
⇒ 大手民間企業のトップを務めた方のリーダーシップによる産業振興策の展開。
⇒ 企業ヒアリングにより、後継者問題が顕在化。

2. 経過

- 平成12年 経済部を産業振興部に改組
諮問機関として産業振興会議を発足
- 平成13年 市と商工会議所の協働事業として、中間
支援組織「サイバーシルクロード八王子」を
設立
- ～18年 ビジネスお助け隊、本気の創業塾、テクニカ
ルカンファレンスの開催などの事業を展開
- 平成19年 はちおうじ未来塾第1期生を募集
- 平成21年 はちおうじ未来塾卒業生による自主運営組織
HFA (Hachioji Future Association) 発足
- 平成27年 新体制※のもとで第9期生を募集
※HFAが運営を全面的にバックアップ

3. コンセプト

- ① MBA講座などでは学べない、社長としての「覚悟」、「決断」、「気づき」を体得する場。
- ② 塾生相互、塾生と塾頭・講師陣との“全人格的”なつながりをもたらす場。
Ex. 合宿、GD、講師推薦図書、交流会
- ③ 革新的な経営を実践している“経営者”を講師とした実学を学ぶ場。
- ④ 卒塾生のネットワークによる万全のフォローアップ体制。

4. カリキュラム例

No	日 程	講 師	
1	6/13(土) ~14(日)	【合宿】 <於:大学セミナーハウス> 開講オリエンテーション・とことん自己紹介 等々	【担当】 塾頭、HFA 運営メンバー
2	7/18(土)	【J-チグ 研修】 とことん自分を見つめ直そう	【担当】 外部講師
3	8/22(土)	<p><u>ご参加いただく塾生の業種や規模に応じて調整します。</u> 参考までに昨年の講師陣をご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大島椿本舗 岡田一郎氏 ・うさぎや(株) 小俣 能範氏 ・(株)ハウスクリニック 田中利治氏 ・(株)内野製作所 内野徳昭氏 ・臨済宗開眼寺 柴田文啓氏 ・(株)サンキューコーポレーション 秋山 悟氏 ・吉野化成(株) 吉野孝典氏 	
4	9/19(土)		
5	10/17(土)		
6	11/21(土)		
7	12/19(土)		
8	1/16(土)		
9	2/20(土)		
10	3/19(土)	【卒業発表・修了式】 「自社の事業戦略・後継者としての課題」を テーマにプレゼンテーション。	【担当】 塾頭、HFA 運営メンバー
番外	随時	塾生講師他交流会・他の地域の視察と交流・各種補講	

5. 実績

	製造	I T	建設	卸・小売	不動産	広告・印刷	医療・福祉	その他	計
第1期生	8	1	1						10
第2期生	5		1	2					8
第3期生	8		1		1				10
第4期生	8		1	2		1			12
第5期生	6					2	1	2	11
第6期生	6		3				1		10
第7期生	4		3	3				1	11
第8期生	2			3				4	9
第9期生	7			2			2	1	12
合計	54	1	10	12	1	3	4	8	93

6. 受講の様子



講義の様子



グループディスカッション結果発表



卒業式

7. 卒塾生のネットワーク組織

平成21年12月、はちおうじ未来塾の卒塾生による自主運営組織としてHachioji Future Association（通称「HFA」）が発足。

未来塾を通じて高まったモチベーションを維持すること、異業種交流を通じて新たなビジネスチャンスを創出することを目的としています。

「自他共栄」を理念として、シンポジウムの開催、コマ大戦など様々な活動を展開中。

今期（第9期）から、未来塾の運営を担うこととなり、カリキュラムの内容や講師の選定などに関わっています。

8. 卒業生のネットワーク組織

八王子市

八王子商工会議所

中間支援組織
サイバーシルクロード八王子



- ◆ 人材育成
- ◆ 創業支援
- ◆ ビジネスお助け隊
- ◆ 共同受注組織の立ち上げ
- ◆ 企業紹介コラムの連載 ...etc

- ◆ 平成13年に設立したサイバーシルクロード八王子が、産業振興のプラットフォームに。
- ◆ 元大手企業のトップを会長とし、協力的リーダーシップとビジネスマインドによる施策を展開。

【事例2】 はちおうじ志民塾

「はちおうじ志民塾」は、人生を通じてこれまで培ってきた自らの知識や経験を、地域に根ざした主体的な活動に活かしていただくとともに、地域での支え合いなど、地域活動の担い手の中心となる人材の養成を目的としています。

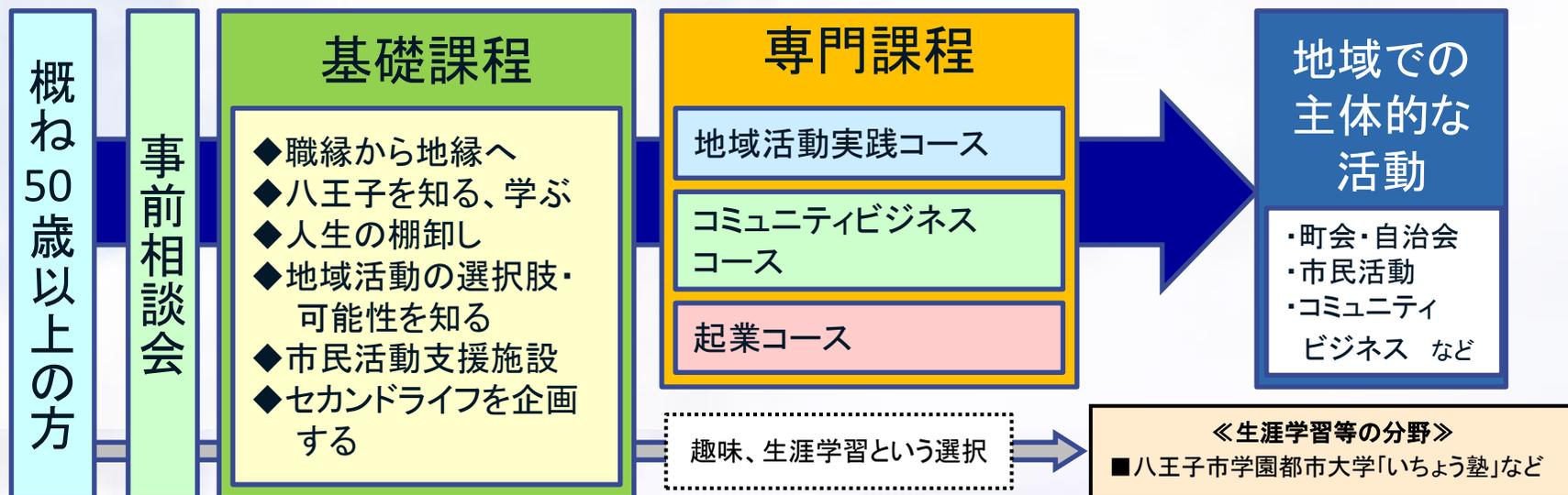


1.背景

- ① 2007年問題への対応
⇒ 本市の団塊世代(1947年~1949年生まれ)及びその前後3年の世代を加えると約9万人。
- ② いち早く「団塊世代等支援デスク」※を設置
⇒ 既存の生涯学習講座やボランティア活動の情報提供に終始。
※ 現在は「地域参加等支援デスク」に改称
- ③ 企業軸・家庭軸に加え、「地域軸」の必要性
⇒ 企業人は会社と自宅の行き来で過ごし、地域とのつながりが希薄。
- ④ 学んだことを“行動”につなげるカリキュラムの必要性
⇒ かつての高齢者イメージと異なり、意欲的かつスキルの高い“元気高齢者”が多い。

2.コンセプト

- ① 「学ぶ」ことを目的化するのではなく、学んだ結果をもとに「行動する」ことを目的とする。
- ② 自ら主体的に活動を起こす“志”を育む塾とする。
- ③ 事業の継続性を考慮した市民活動を目指す。



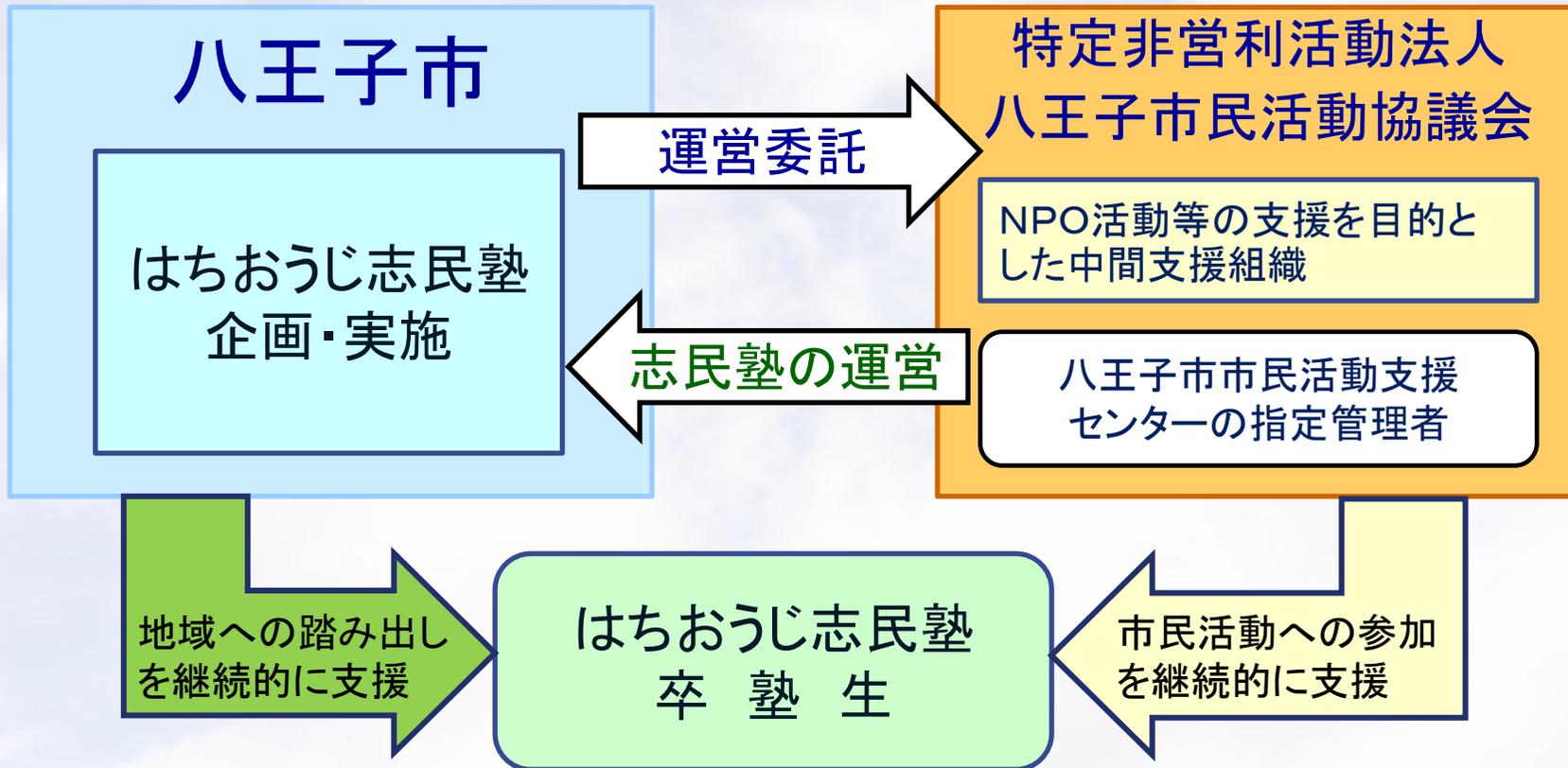
3.これまでの実績

区分	平成27年8月現在 卒塾生の主な活動状況						計
	町会	NPO/ 市民活動	市政に参加 (市民委員等)	起業	活動を 模索中	その他	
第一期生	0	9	1	0	1	18	29
第二期生	0	13	0	1	2	11	27
第三期生	0	16	2	1	1	6	26
第四期生	3	9	0	0	3	6	21
第五期生	1	11	0	1	7	2	22
第六期生	1	13	0	0	2	1	17
計	5	71	3	3	16	44	142
	82						

- ・NPO法人市民活動協議会理事
- ・市民活動支援センター
センター長、スタッフに就任
- ・町会・自治会の役員就任
- ・市民活動団体の立ち上げ など

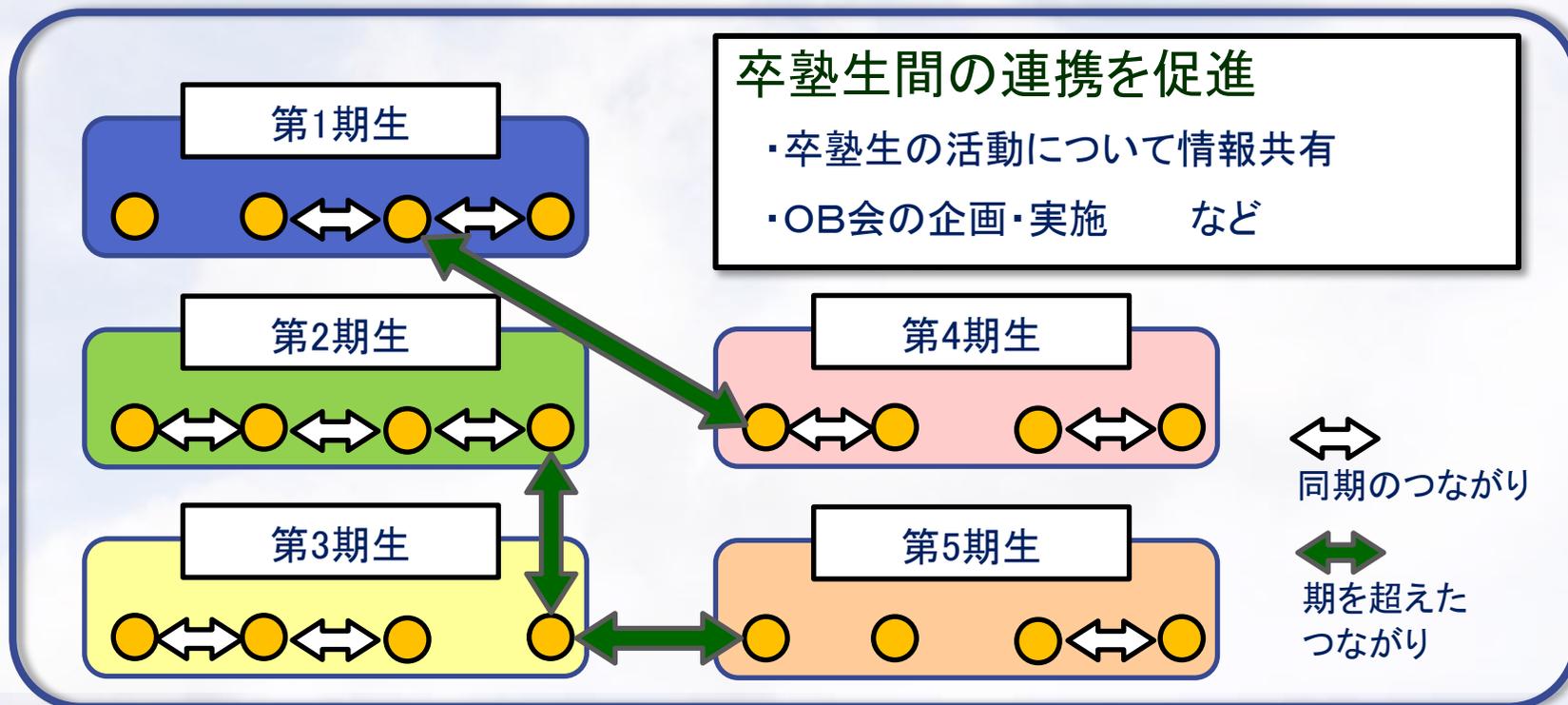
- 現役で働いている方
- 趣味の活動をしている方
- 市外へ転居された方
- 連絡がとれない方 など

4.実施体制



5. 卒塾生のネットワークづくり (H26～)

- ◆ 各期の代表から選出したメンバーで実行委員会を組織し、体験談を伝えるとともに、講座運営のサポートを実施。
- ◆ 年一回のOB会全大会を開催



6. 支援策

◆ 市民企画事業補助金

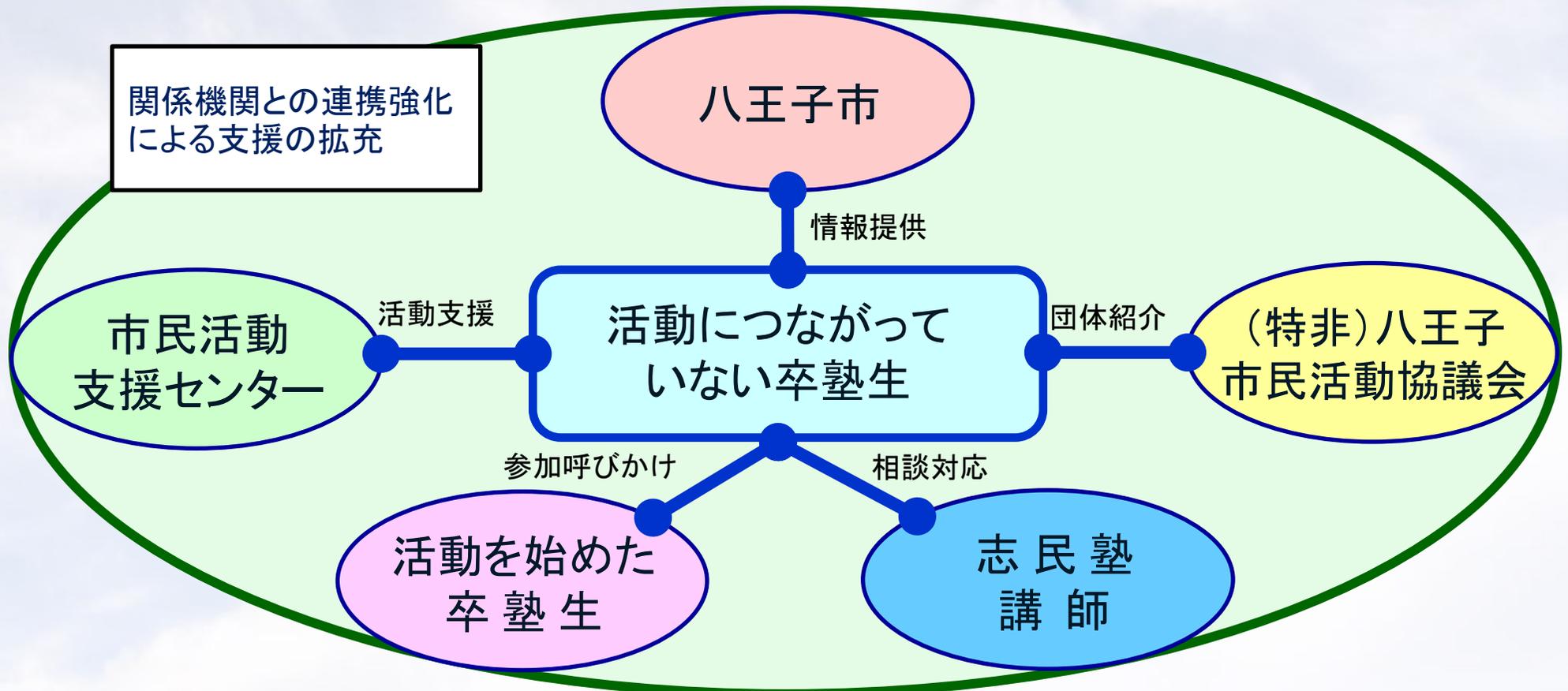
地域の課題解決のために、市民活動団体が自ら企画・実施する事業について、市がその経費の一部を補助

- ①活動支援部門 上限10万円 各団体2回まで
- ②事業実施部門 各団体3回まで
 - ・初年度：補助率1/2 上限100万円
 - ・2年次以降：事業費の1/3または前回交付決定額の80%のいずれか低い額

◆ ビジネスお助け隊による支援（CBを対象） サイバーシルクロード八王子との連携

7. 今後の展開

◆ 卒塾後の支援体制の拡充



現状：(特非)八王子市民活動協議会への参加が多い ⇒ 多様な活動へ